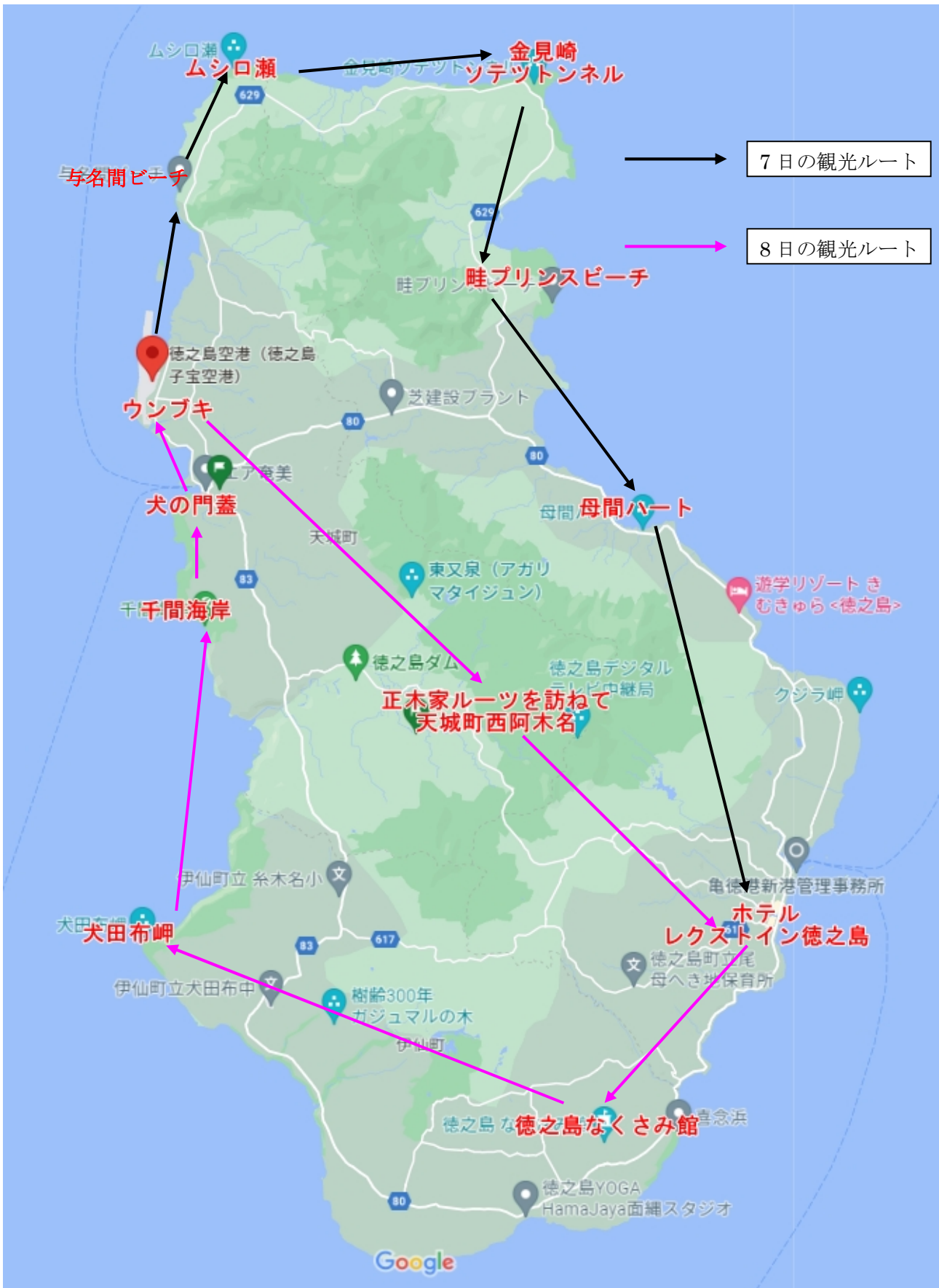


徳之島観光計画案内

徳之島全島図 濃い赤字の部分を観光の予定



観光ルート

2月7日（月）10時55分 徳之島空港到着（到着後昼食とレンタカー借り受け）

ホテルを8時に出発し9時に奄美大島空港到着（31km 44分）レンタカー返却 10時25分奄美
出発 → 徳之島空港到着し、昼食後レンタカーを借り受け 12時に観光に出発 → 10分
5.8km 与名間ビーチ → 7分,3.6km ムシロ瀬 → 12分,7.4km 金見崎ソテツトンネル →
12分,7km 畦（うね）プリンスビーチ → 15分,8.7km 母間ハート → 17分,11.1km ホテル
レクストイン徳之島 18時に到着予定

徳之島での地図上の走行距離 : **43.6km** ・ 走行時間 : **72分**

2月8日（火）

9時 ホテルをレンタカーで出発 → 15分,8.6km 徳之島なくさみ館 → 24分,13.7km 犬田
布岬 → 26分,15.5km 千間海岸 → 8分,3km 犬の門蓋 → 8分,4km ウンブキ → 21
分,13.1km 正木家のルーツ地 天城町西阿木名地区（天城町立西阿木名小学校三京分校付近）
→ 16分,11.1km ホテルレクストイン徳之島 18時着予定

徳之島での地図上の走行距離 : **69km** ・ 走行時間 : **1時間39分**

観光地概要

1. 与名間ビーチ

「与名間（よなま）ビーチ」は、全体が海浜公園として整備されているビーチで、プールやオー
トキャンプ場、マリンスポーツ体験施設などを併設するレジャースポットです。毎年6月下旬に
開催される、トライアスロン大会のスタート地点及びスイム会場でもあります。

また、夕日スポットとしても知られ、天気の良い日には水平線に沈んでいくきれいな夕日を見る
ことができます。

2. ムシロ瀬

サンゴ礁の多い奄美群島では珍しい、花崗岩が広がる海岸線。なめらかな花崗岩がムシロを敷い
たように見えることから、その名が付いたと言われています。

釣りスポットとしても有名で、回遊魚釣りにおすすめ。また、海岸付近には、大島紬の染色に使用
される車輪梅（しゃりんばい）が群生しています。

3. 金見崎ソテツトンネル

「金見（かなみ）集落」にある、樹齢300年を超えるソテツの群生で作られたトンネル。約200m
続く自然のトンネルは南国ムード満載です。

トンネルを抜けた先には「金見崎展望所」があり、太平洋と東シナ海を見渡す大パノラマが広が
ります。天気の良い日には、加計呂麻（かけろま）島や与路島など奄美諸島まで見えることも。

4. 畦プリンスビーチ

白い砂浜とコバルトブルーの海のコントラストが美しい「畦（あぜ）プリンスビーチ」。昭和47

年（1972年）に、当時の皇太子さまと美智子さまが訪れ、散策されたことから「プリンスビーチ」と名付けられました。

5. 母間ハート

砂浜に降りる階段の壁にハート型の穴があり、SNS映えする撮影スポットとして人気の「母間（ぼま）ハート」。階段自体も「幸せ階段」と呼ばれています。
海をバックに砂浜に立った被写体を、ハートの穴から覗き込むようにして撮影するのがおすすめ。母間集落を入ってすぐの「川畑製菓」の看板から海へまっすぐ進んだところにあります。遠浅で波も穏やかなので、子連れの海水浴にもおすすめ。また、ビーチのほかに展望所やキャンプ場があり、キャンプ場では炊事棟やシャワーを無料で利用できます。

6. 徳之島なくさみ館

徳之島では300年以上前から闘牛が盛んで、お正月や成人式などのおめでたい日にも闘牛大会が開かれています。
このローマのコロッセオのような形の「徳之島なくさみ館」は闘牛場で、徳之島の闘牛文化を支える重要なスポット。全国各地から闘牛ファンが訪れることでも有名です。
屋根付きなので雨の日でも試合が行え、試合がない日でも見学は可能です。運が良ければ、稽古や練習試合をしているところが見られるかもしれません。

7. 犬田布岬

「犬田布（いぬたぶ）岬」は、琉球石灰岩が浸食されてできた崖の地形と、東シナ海を一望できる、徳之島の南西部に三角形に突き出した岬です。
芝生の広場には、第2次世界大戦末期、この沖に沈んだ戦艦大和の慰霊塔が立っており、祈りをささげ、平和を誓う場でもあります。

8. 千間海岸

徳之島を代表するダイビングスポット「千間海岸」。海中の透明度が高く、太陽光が差し込む光景は素晴らしいの一言！アーチや海底洞窟が多くあり、足元にはサンゴ礁が広がっています。
このエリアは、ウミガメとの遭遇率が非常に高いことでも知られ、運が良ければウミガメと一緒に泳ぐこともできます。

9. 犬の門蓋

東シナ海に面した海岸線一帯に、断崖や奇岩が点在する「犬の門蓋（いんのじょうふた）」。これは隆起サンゴが長年浸食されたことによってできたものです。大きな洞門が2つ並ぶめがねのような奇岩「めがね岩」をはじめ、洞窟、ビーチロックなどの絶景が見られます。また、この一帯では、12～4月頃にホエールウォッチングも楽しめます。
ちなみに、「犬の門蓋」という変わった名前は、人畜を襲う野犬を海に投じたという逸話が由来であると言われています。

10. ウンブキ

サンゴ礁の隆起によってできた鍾乳洞が、再び海に沈下した海底洞窟で、エメラルドグリーンの水が幻想的。

400m 先の海底とつながっているので「陸の中の海」とも呼ばれ、潮の干満によって水位が変化します。陸の地下水と海水が混ざる特殊な環境のため、珍しい魚やエビが多数生息し、日本で初めて発見されたアナゴ種「ウンブキアナゴ」も生息しています。

1 1. 正木家ルーツの地を訪ねる 天城町立西阿木名小学校三京分校付近

この場所は、観光地ではありません。正木伸治の父親が生まれた土地で、父は小学生のころ兵庫県西宮市に移住し、亡くなるまで一度も生地に里帰りをしたことはありませんでした。

そんなことで、亡き父の代わりに一度父の生地を訪ねてみようと思いました。あくまで、正木個人の勝手に誠に申し訳ありませんが、NHK で芸能人の家のルーツを訪ねる番組をしていることがきっかけで「正木家のルーツの地を訪ねる」ということで、ご理解、ご了承を頂ければと思っています。しばしの時間を頂けたらと思います。